

長野西高等学校

通信制だより



2019年(令和元年)7月1日(月)

発行: 第1号(通算26号)

担当: 長野西高等学校 渉外係



箱清水の皆様へ

梅雨の候、皆様にはお変わりありませんでしょうか。

日頃、本校の教育活動に際しまして、ご理解およびご協力をいただき御礼申し上げます。

令和となった本年度も長野西高校通信制の活動内容をお知らせ致しますので、ご覧いただきますよう宜しくお願い致します。

地域の皆様とともに「開かれた学校づくり」を!

学校長 小松 容

この4月に学校長として赴任しました小松 容(こまつ いる)と申します。よろしくお願い致します。平成13年度から19年度までの7年間、全日制ではありますが英語教諭として勤務しておりましたので、とても懐かしい思いで戻ってまいりました。地域の皆様方には、日頃より本校通信制へのご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。



さて、長野県教育委員会では、「高校改革～夢に挑戦する学び～」実施方針を平成30年9月に公表し、高校改革における通信制教育の充実を図ろうとしています。本校通信制は、設置以来70年を超える伝統があり、長野県の通信制教育の草分け的な役割を果たしてまいりましたが、様々な社会背景や教育環境の変化等により、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる、開かれた学びの機会を保障する通信制教育の意義は、ますます大きくなりつつあります。地域の皆様とともに、西高通信制をより発展させるためにも、生徒、教職員一同「開かれた学校づくり」を進めてまいります。この通信制だよりを通して、本校通信制へのご理解をさらに深めていただければ幸いです。

地域の皆さまに見守られて

通信制教頭 丸山正史

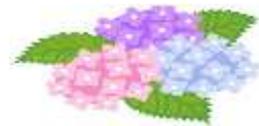
今年も新生徒163名を迎え、新しい年がスタートしました。毎週日曜日、昇降口で生徒に声を掛けながら迎え入れると、声に出して挨拶を返してくれる生徒、少し恥ずかしそうに頭を下げていく生徒など、様々な反応の中に、成長したい、変わりたいという強い意思が感じられます。人付き合いを苦手とする生徒もいますが、学校の中でのちょっとしたコミュニケーションが社会に進み出る勇気になればと思っております。

新しい学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が求められています。通信制では、「主体的」に学ぶ姿勢が必要になりますし、レポートを通じて「対話的」な学びにもつながると考えています。通信制の学びが、大きな可能性を秘めていることを自覚し、生徒とともにその可能性に挑戦して参ります。これからもその取り組みに注目いただくとともに、今までと変わらずに見守っていただけますようお願い申し上げます。

<信友会会長挨拶>

生徒会長 峰村洋正

日頃から地域の皆様には大変お世話になっております。昨年「信州学・西高学」が開始され、地域のことをよく知り、関われることを目標に学習しております。今後も引き続き地域活動の充実を図り、箱清水地区の皆様にあたたかく見守っていただけるような通信制にすべく、生徒一丸となって頑張ります。1年間、よろしくお願い致します。



ここであらためて、長野西高校通信制についてご紹介します。

<長野西高校通信制の歴史>

日本の通信教育が本格的にスタートしたのは、昭和23年（1948年）のことです。

「より多くの人に教育を受ける機会を」という高い理想のもと、82校の通信制高校が全国に誕生しました。

本校にも同年3月、「長野高等女学校通信教育部」が開設されました。昭和36年（1961年）には「長野西高等学校通信制」と改称し、現在に至っています。善光寺平を一望する丘の上で育まれた卒業生は、国の内外の幅広い分野で活躍しています。

日本の通信教育の歴史とともに歩んできた「通信の伝統校」です。

いつでも 通信制の授業は、面接授業（スクーリング）といい、日曜日にあります。時間割は、自分で計画を立て、年間を見通し出席していきます。レポートは、面接授業に出席し作成することが、望ましいですが時間さえあれば、いつでも自分のペースで作成できます。

どこでも 通信制の学習は、「自学自習」が基本です。レポートを作成して、先生の添削を受けます。自宅でも職場でもどこでも自分のペースで学べます。小諸面接や地域ごとの学習会も利用できます。そこで先生や友達に教わることもできます。

だれでも 年齢や学習歴などに関係なく、誰でも学習できます。幼児がいる人のために「託児室」があります。身体に障害のある人のためには、エレベーター等を用意して学校生活を送りやすいようにしています。



←小諸面接授業
業
日曜日の託児



<学校生活の主な行事>



←体育祭



←遠足



文化行事→